

製品名: CdGAP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08537**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ARHGAP31
別名	ARHGAP31; CDGAP; KIAA1204; Rho GTPase-activating protein 31; Cdc42 GTPase-activating protein
遺伝子 ID	57514.0
SwissProt ID	Q9ULL6
免疫原	CdGAP 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 730-810

背景

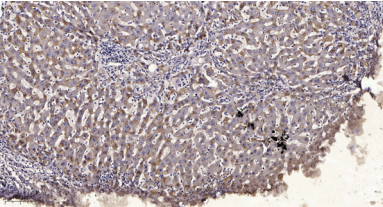
この遺伝子は GTPase 活性化タンパク質 (GAP) をコードします。様々な細胞プロセスは、GDP に結合した不活性型と GTP に結合し

た活性型の間を循環する Rho GTPase によって制御されています。この不活性型と活性型の循環は、グアニンヌクレオチド交換因子と GAP によって制御されています。コードされているタンパク質は、タンパク質輸送と細胞増殖に関与する 2 つの GTPase を制御することが示されている GAP です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月], 発生段階: 主に胎児の心臓と筋肉で発現します。、機能: RAC1 および CDC42 の GTPase 活性化タンパク質 (GAP) として機能します。細胞の伸展、極性ラメリポディアの形成、および細胞の移動に必要です。、PTM: Thr-789 のリン酸化は GAP の活性を低下させます。、類似性: 1 つの Rho-GAP ドメインを含みます。、サブユニット: GAP の活性を阻害する ITSN1 と相互作用します。 PARVA と相互作用します。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。